



profile
昭和16年1月1日生まれ。
趣味は日常風景から短歌を詠むこと。入江4区在住。79歳。

仲間と切磋琢磨し、満足できる歌を詠みたい

Spotlight

スポットライト



「木賊（とくさ）短歌会」事務局長 佐藤 敦子さん

「短歌は、俳句みたいに季語などの制約がないので、気軽にできるのがいいところだと思います」

短歌の魅力を語るのには、「木賊短歌会」事務局長の佐藤敦子さん。「木賊短歌会」は、会員の減少や高齢化が進み、短歌誌「木賊」の発行も7月の636号の刊行をもって終刊となりましたが、組織としての活動は当面継続していく方向だと言います。佐藤さんは、壮瞥町出身

で、旦那さんの仕事の都合で1974年に旧虻田町へ引っ越してきました。

短歌を始めたきっかけは、旧洞爺村の友人が歌集を発売し、それを読むようになったこと。「作者の子どものことを詠んでいる歌集で、自分も子どもがいるので、短歌として日記感覚でやってみようと思いました」と当時の思いを話します。

佐藤さんは短歌を詠むようになり、友人からの誘いも

あったことから、1976年に「木賊短歌会」に入会し、今年で44年目。「月1回の歌会や短歌誌の発刊などで人とのつながりが深まり、楽しく活動することができ、あつという間でした」とこれまでの活動を振り返ります。

短歌誌「木賊」の終刊について佐藤さんは「長年発刊してきたので寂しさはありますが、組織として活動は継続できるので、気兼ねなく、楽しく話していいと思います。」と

自身の生活と短歌の関係性について佐藤さんは「日常生活で見えているもので、どんな短歌ができるか考えてしまいます。日々の生活に欠かさないものとなっています」と語ります。

今後の活動について佐藤さんは「月1回、歌会があるので、会員の仲間と切磋琢磨して自分自身が満足できる短歌を作っていきたいです」と意欲を見せます。

東奔西走

少しずつですが、小さいイベントなどの取材機会が増えたように感じます。例年に比べると、まだまだ少ないですが、町民の皆さんの笑顔を見ると、楽しく取材できます。いつもご協力いただきありがとうございます。(C.K)

いよいよ国勢調査が始まります。国勢調査は5年ごとに実施され、国内に住んでいるすべての人を対象に行われる国で最も重要な統計調査です。皆さんの家庭にも調査員が伺いますので、調査へのご協力よろしくお願ひします。(M.O)

今月のワンショット



ジャンボンジャンボン玉を楽しむ 母子の夏☆まつり

